

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	動物愛護啓発事業				事業番号	011-240	
担当部署名	健康福祉局	局	保健所	部	動物指導センター		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			平成 14 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			動物の愛護及び管理に関する法律 大阪府動物の愛護及び管理に関する条例 堺市動物の愛護及び管理に関する条例						

事業の概要

5	事業の実施主体	動物指導センター		
6	事業の対象	堺市民 堺市内動物取扱業者	対象数	単位
			約80万	人
7	事業の目的	動物の愛護及び管理に関する法律・大阪府動物の愛護及び管理に関する条例・堺市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼育者を含む市民及び動物取扱業者を対象として、適正飼養に関する指導や啓発を行い、人と動物の共生できる社会の構築をめざす。		
8	事業内容	○飼い犬・飼い猫の引取り ○所有者不明の犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容 ○犬猫譲渡登録制度と収容犬猫の譲渡 ○動物の適正飼養の普及・啓発 ・飼育動物の苦情対応 ○地域猫活動への支援（地域猫の不妊手術費用について一頭当たり最大8,000円、1団体30頭まで） ○動物取扱業の登録・届出及び特定動物の飼養・保管許可		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	補助金；地域猫活動団体		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	犬猫返還譲渡率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	31	31	34	60
			実績値	32	58		
	達成率	103%	187%				
当該指標を選定した理由		返還及び譲渡を行うことで、殺処分分の削減につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和12年度60%を達成するための取組計画数値（令和5年度作成）					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	新規飼育登録希望者	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	69	116	83	
			実績値	97	69		
	達成率	141%	59%				
当該指標を選定した理由		収容された犬猫の譲渡を推進するため、事前登録された新規飼育希望者数					
目標値の設定根拠・算出方法		譲渡を推進するため、前年希望者数実績の1.2倍					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	動物愛護啓発事業	事業番号	011-240
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	22,244	13,580	17,499	14,220	12,365
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	206	208	200	209	200
	市債	0	0	0	0	0
	その他（寄附金等）	20,826	11,129	13,234	11,966	8,040
	受益者負担金(使用料、手数料等)	162	271	379	322	569
14	人件費（b）	46,980	34,900	33,600	28,200	34,800
	一般財源	1,050	1,972	3,686	1,723	3,556
15	年間経費（c）=(a)+(b)	69,224	48,480	51,099	42,420	47,165

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	消耗品費		2,237	687	基金積立金	R7	決算	10,490	0
		R8	予算	2,135	1,605		R8	予算	4,713	0
	地域猫活動を支援するための避妊去勢手術助成金	R7	決算	776	543	旅費	R7	決算	219	219
		R8	予算	3,936	1,000		R8	予算	477	477
	通信運搬費	R7	決算	98	98	備品購入費	R7	決算	54	54
		R8	予算	314	314		R8	予算	0	0
	収容動物治療費、避妊去勢手術費（手数料）	R7	決算	244	20	印刷製本費	R7	決算	15	15
		R8	予算	654	24		R8	予算	15	15
	講習会費（講師謝礼金）	R7	決算	22	22	その他（使用料等）	R7	決算	65	65
		R8	予算	41	41		R8	予算	80	80

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 犬猫譲渡数	頭	30	38
	② 上記①にかかる年間経費	千円	2,615	2,481
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	87,167	65,290
算出についての説明等		年間の動物飼養に要した経費（エサ代、手術費、治療費、薬代等の合計）を、同年度に譲渡成立した頭数で除して算出した。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度は子猫の収容頭数が多かったが、令和6年度より開始した子猫のミルクボランティア登録制度を活用し、今まで救うことができなかった子猫を譲渡できるまで飼育した（令和7年度ミルクボランティアによる一時飼育7頭）。そのため人馴れが進み、譲渡しやすい状態の猫が多かったため、飼育希望登録者に対し、適宜紹介をしたところ、昨年度よりも猫の譲渡数が増えた。また子猫が譲渡に至るまでの収容期間が短かったこと、寄附により犬猫のフードに係る費用が減少したことから、単位当たりの経費が減少した。 次年度以降も引き続き、収容犬猫の譲渡推進に努める。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	ふるさと納税による寄附金を活用した猫譲渡推進施設については、収容猫の普段の様子を来所者に公開し認知度向上を図り、飼育希望登録者との対面・ふれあいの機会を提供した。また、小学生向けの動物愛護啓発教室や動物愛護フェアを開催し、愛玩動物の適正飼育の啓発を行った。加えて、収容犬猫の譲渡の更なる推進のため、市HPの随時更新、広報さかいへの特集記事掲載、民間と連携した各種イベントでのブース出展等を行い、譲渡制度の認知拡大を図った。 以上より、本事業は収容犬猫の譲渡率の向上に寄与したものとする。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、市民の動物愛護意識の向上及び動物の適正管理の推進を通じて、人と動物が共生する社会の実現を目的とするものである。飼い主からの引取りや遺棄等により収容される犬猫の増加を抑制し、新たな飼い主に命をつなぐためには、普及啓発や譲渡推進の取組が不可欠である。
	有効性	■ 高い □ 低い	本事業の実施により、収容犬猫の認知向上と飼育希望登録者の拡大が図られ、譲渡機会の増加につながっていることから、本事業の必要性・有効性はいずれも高いと評価できる。